

資料

～千葉県立東金病院～

厚生労働省 平成14年度 地域診療情報連携推進事業

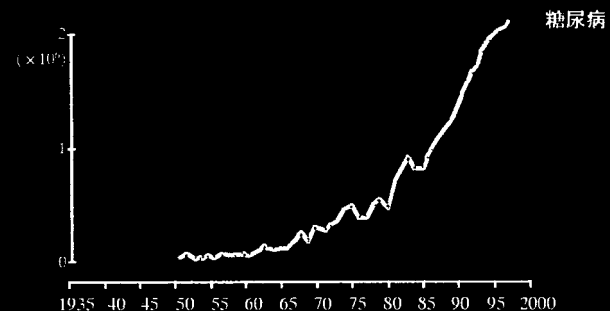
わかしお医療ネットワーク Ver2.0

平成14年12月6日

千葉県立東金病院
内科 平井 愛山

地域における糖尿病診療のレベルアップと 電子カルテネットワーク

わが国における糖尿病患者の推移



糖尿病は21世紀の国民病である！！

出典: K. Matsuoka et al.

山武医療圏の紹介

1. 山武医療圏

- 千葉県九十九里浜に沿う1市8町村からなり、人口が約20万人余り
- 診療所: 90件
- 病院: 7件

2. 千葉県立東金病院

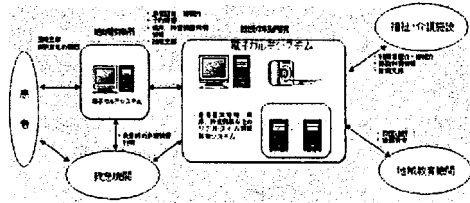
- 山武医療圏での地域中核病院、昭和28年に開設された千葉県で最初の県立病院
- 診療科: 17科、病床数: 191 (一般: 179, 結核: 12)、外来: 約400~500人/日
- 救急基幹センター、エイズ拠点病院、結核入院診療



東金市を中心とした
1市8町村

先進的IT活用を中心としたネットワーク推進事業

本事業は、平成12年度に経済産業省が医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)に委託し、電子カルテシステムを軸にした統合的な情報システムの普及を図ることにより、医療の効率化、質の向上を目指した我国初のビッグプロジェクトである。平成13年度中に実証実験が行われ、平成14年3月に成果報告会が開催された。



169件の応募→26件の採択候補を決定

明日の健康づくりと医療のIT化

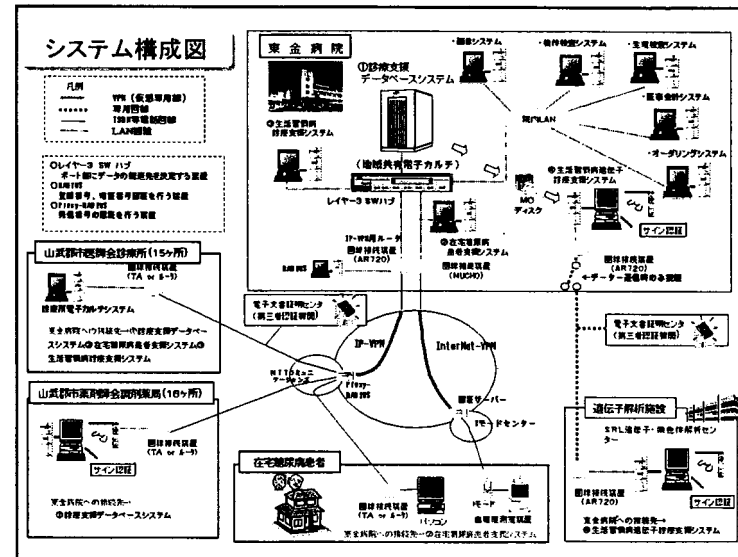
三つの安心を目指して

- ① 安心して医療機関にかかれる。
- ② 安心して薬がのめる。
- ③ 安心して糖尿病治療を受けられる。

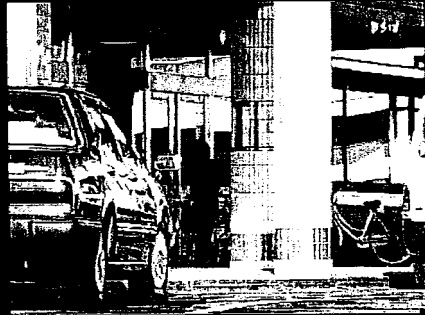
あけお医療ネットワーク

先進的医療連携・遺伝子診療モデル事業

山武郡市医師会・山武郡市薬剤師会
千葉県立東金病院



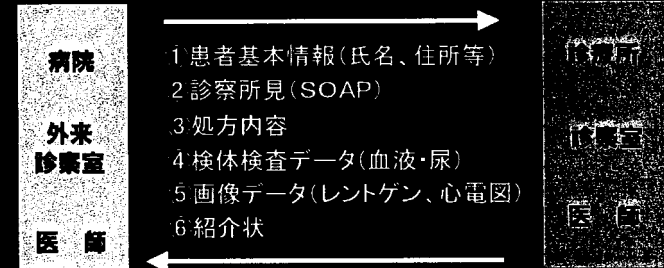
わかしお医療ネットワークの紹介



BS-1 放映画像より

電子カルテシステム

病院・診療所間での診療情報の相互参照・入力



わかしお医療ネットワーク 電子カルテシステム

わかしお医療ネットワーク電子カルテの特徴

- ① 診療履歴一覧(診療ナビゲータ)から、時系列で診療内容の全体を俯瞰することができる。
- ② テキストデータと画像データのいずれも閲覧可能である。
- ③ 診察所見、処方内容、検査結果の閲覧は診療履歴のボタンをクリックして表示する。検査既往歴一覧も表示できる。
- ④ 画像一覧より選択した画像がポップアップ表示され、ページめくりと縮影所見を閲覧することができる。
- ⑤ 各種の入力画面操作は入力画面選択ウィンドウからおこなう。

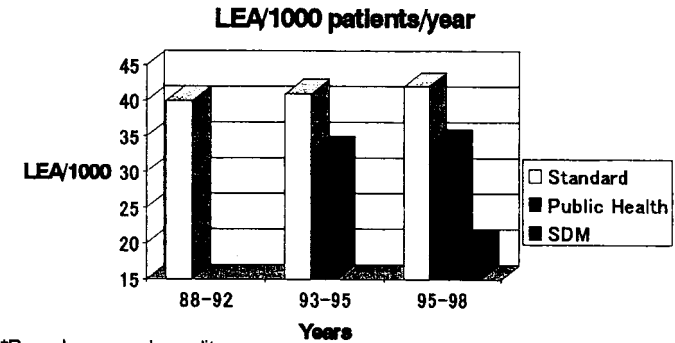
電子カルテネットワークにより
地域の糖尿病診療の平準化と質の向上を図る！！

第一世代の電子カルテ 双方向の糖尿病診療情報の共有と医療連携の強化



第二世代の電子カルテ 糖尿病診療支援機能による医療の平準化と質の向上

SDM導入後、糖尿病足病変による下肢切断
は半減した。(vs. 従来法と 衛生教育法)
(The Indian Health Service)



糖尿病診療における医療の平準化とその効用

糖尿病診療のオンライン実践ガイドラインの導入と普及



① 診療所でもインスリン自己注射患者の管理が可能になる。



② 重症糖尿病患者の合併症の発症・進展の防止

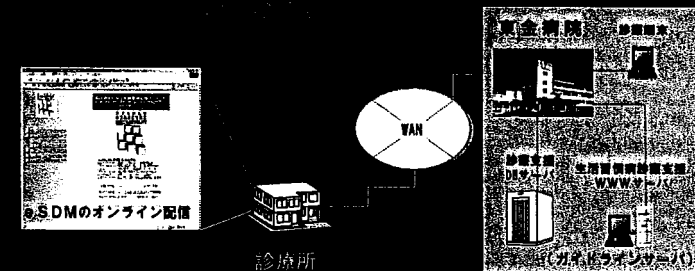


③ 患者QOLの向上と医療経済の改善

糖尿病診療支援システム

糖尿病診療の平準化とEBMの実践を目指す電子診療支援システム
(1)診療ガイドラインのオンライン配信
(2)電子カルテと連動した診療ガイドラインの活用システム

糖尿病診療ガイドライン



わかしお医療ネットワークを支える 山武SDM研究会



eSDMの解説と使い方 症例提示 薬剤解説

病院・診療所間における糖尿病診療の連携

— 1年間の運用実験からわかったこと —

病院

山武SDM研究会
〒350-0202 山武市山武
山武SDM研究会
〒350-0202 山武市山武
山武SDM研究会
〒350-0202 山武市山武

病院と自宅近くの診療所
を交互に受診

診療所

山武SDM研究会
〒350-0202 山武市山武
山武SDM研究会
〒350-0202 山武市山武

診療情報の共有によりお互いの診療内容が見えてきた。
その結果、連携してインスリン量を調節することができた。

eSDMによる2型糖尿病におけるインスリン調節ガイド

2型インスリン調節ガイド(その1、2、3)

血糖値までのインスリンを算出しているが、血糖値の増減は翌日から減ります。血糖値の増減は2日か4日待つ！

- 食事療法の変化による血糖値は1日以内で増える。一日を置いて血糖値が同じ、実際の値が50mg/dLUPから、まず朝食前血糖値にすることから始める。
- 朝食前の血糖値は7時30分の血糖値の注、夜間 (Somogy effect) の可能性がある。
- インスリン用量>10~15U/dで2インスリンの過剰投与を疑う。

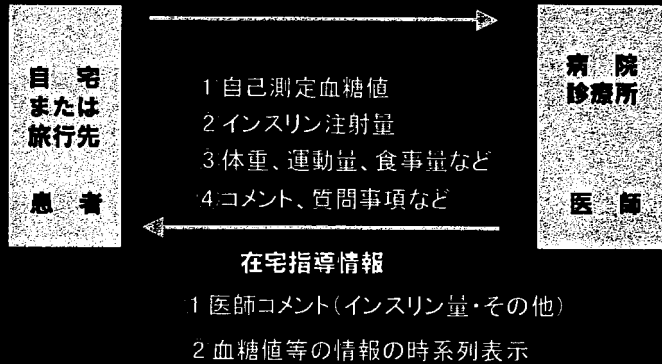
血糖値 (mg/dL)	<80	>140	>200
朝食前または 午後2時	1つのM 1-2U/d	1つのM 1-2U/d	1つのM 2-4U/d
昼	1つのRQ 1-2U/d	1つのRQ 1-2U/d	1つのRQ 2-4U/d
夕	1つのM 1-2U/d	1つのM 1-2U/d	1つのM 2-4U/d
就寝前	1つのRQ 1-2U/d	1つのRQ 1-2U/d	1つのRQ 2-4U/d

備考

在宅糖尿病患者支援 システム

在宅糖尿病患者支援システム

在宅糖尿病患者支援システムによる双方向の情報交換

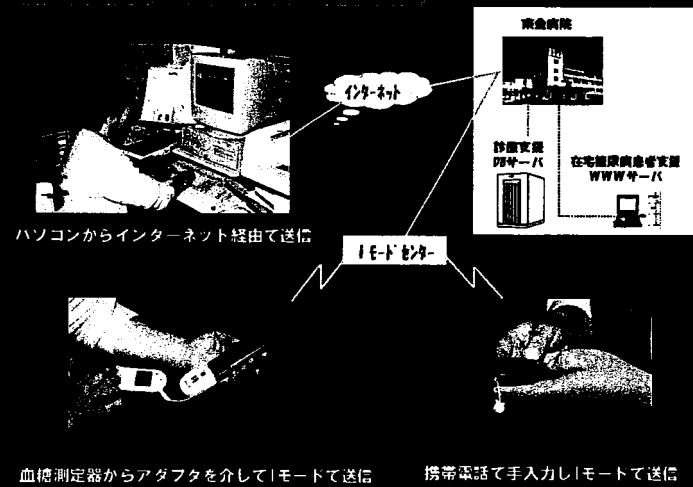


在宅糖尿病患者支援システムの紹介



TV-12 放映画像より

在宅糖尿病患者支援システム



在宅糖尿病患者支援システムアンケート集計結果

実証実験参加者 16名中 回答者16名

- 質問1 糖尿病コントロールを以前より良好に保つ自信がありますか？
 回答 そう思う 9名 どちらかといえばそう思う 5名
 どちらでもない 2名
- 質問2 今後もこのシステムを利用したいか
 回答 そう思う 13名 どちらかといえばそう思う 2名
 どちらでもない 1名
- 質問3 質問2でそう思うと回答されたかたは、有料(¥1000/月)でも利用したいか？
 回答 そう思う 9名 どちらでもない 3名
 どちらかといえばそう思わない 1名